

令和7年度

(公社)日本ホッケー協会 U15 カテゴリー一部会



第2回常任委員会議事録

期 日:令和8年2月28日(土) 13時00分～17時00分

令和8年3月1日(日) 9時00分～13時00分

会 場:YIC 京都工科自動車大学校 TEL075-371-4055

京都市下京区油小路通塩小路下ル西油小路町 27

参加者 (敬称略)

会 長:式 貴志 (香川県:香川県ホッケー協会会長)

副 会 長:西山 径 (岡山県:瀬戸中学校校長)

顧 問:馬場 治男 (埼玉県:駿河台大学)

事務局長:久保 克敏 (京都府:蒲生野中学校)

事 務 局:徳光 寿 (山口県:末武中学校)

競 技 部:鈴木 良子 (兵庫県:丹南中学校)

審 判 部:尾木 典隆 (奈良県:桜井西中学校)

常任委員:曾根原龍太 (東北)、佐々木亮太 (関東)、松本 大輔 (北信越)

藤原 信幸 (東海)、山田 享平 (近畿)、道端 良之 (中国)

川原 篤 (四国)、永山 拓志 (九州代理)

U15 海外遠征事務局:幸田 伸也 (奈良県:郡山南中学校)

常任委員会
・構成員:17名
・出席者:16名
規約第6章第19条に
則り本会は成立

.....
第56回全日本中学生ホッケー選手権大会実行委員:矢部 貴俊

文責:徳光 寿 (事務局)

1 開 会

2 あいさつ

会に先立ち、式U15 カテゴリー一部会長 (香川県ホッケー協会会長) からご挨拶をいただく。

3 参加者紹介

4 協議事項

(1) 第56回全日本中学生ホッケー選手権大会について・・・・・・[岡山県大会実行委員会より]

・「実施要項・競技日程等」「宿泊関係」「会場関係」の決定事項

○9時競技開始を予定。(昨年度までは9時30分開始)※6時から朝食が可能であれば9時競技開始とすることを確認。

○申し込み方法について、11人制大会の方法と同じように、共有ドライブにエクセルデータを格納する。(7月27日までに地区大会が終了していない地区はすべてのチームが提出すること)

○保護者の方の駐車場が遠いこともあり、シャトルバスを運行予定。

○全中大会開催に向けて、物価高騰や酷暑対策等による支出増額が見込まれている。そこで、大会実行委員の方で記念Tシャツを販売し、1枚あたり500円の大会実行委員への収入としたい。多くの方々にご協力をいただきたい。 **資料1**

・宿泊、弁当要項について

○一部の宿泊施設では、1泊朝食での案内となる。夕食に関しては、弁当手配または近隣の食事施設を案内予定。

○保護者の宿泊については、斡旋しない。

○氷は販売する予定。

*全中大会および11人制大会の宿泊についての留意事項

- ・大会期間中については、必ず大会事務局を通して宿泊申し込みをする。
- ・弁当については、以前より希望制としている。
- ・全中大会では大会初日(開会式の前)に公式練習を設ける。

<確認事項> (U15事務局)

- ・JOC有望選手のトロフィーについては、U15カテゴリー一部会で準備。
- ・全中大会の手当者については、日本ホッケー協会に登録された者(成人に限る)であること。
- ・日本ホッケー協会(JHA)からの補助金 全中大会 180万円⇒現在補助金額を上げてもらえるように交渉中。令和8年度JHA予算を現在検討し始めています。
- ・決勝トーナメントの組み合わせについては、事前に決勝トーナメントの組合せ表に入る。組み合わせ抽選はおこなわない (R6.2.24)

・各ブロック参加枠数の決定・・・・・・ (U15事務局)

ブロックの枠数配分の方法は、昨年12月31日時点の登録チーム数(チームとして人数を満たしている(合同チームを含む)数による比例配分により参加枠を決定する。

資料5 「2. 全国大会参加チーム数について」による

各ブロック参加枠数が以下の通り決定した。

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地	優勝枠	合計
男子	0	3	4	3	2	4	3	1	2	1 岡山	1 近畿	24
女子	0	3	4	3	1	4	4	1	2	1 岡山	1 東海	24

- ・全国大会シード権(組み合わせ抽選)及び決勝トーナメントの組み合わせ抽選の確認
 全国大会のシード権について やり方:確認(シードが9チームの場合)
 ①前回の全中でベスト4に入った府県ブロックを先に分ける。

②その後、各ブロックのシード校をランダムに抽選する。但し、予選会を行わずに全中に参加をしている府県はシード扱いをしない。

よって、シードが9チームになった場合は、1つのブロックの中にシード校が2つの入る所ができる。

具体的には・・開催地枠と今年度のベスト4に入ったブロックは、同ブロックにシードチームが2つ入らないように抽選をする。

令和7年度男子ベスト4 優勝：HC HYOGO HEARTS（近畿）、準優勝：東原（関東）
3位：岩手U-15（東北）、横田（中国）

R8開催地枠 岡山（中国）

令和7年度女子ベスト4 優勝：かかみがはらHC（東海）、準優勝：朝日（北信越）
3位：今市（関東）、RED OX（北信越）

R8開催地枠 岡山（中国）

上記結果により、令和8年度の男子については、開催地枠（岡山・中国）と近畿ブロック、関東ブロック、東北ブロック、中国ブロックの1位の4チームについては、先に抽選を行い、この5チームについては同一ブロック内に入らないようにする。その後、他ブロックの1位を抽選する。女子も同様に行う。

・大会レギュレーションについて

○登録人数の変更について

令和6年度第2回常任委員会で、登録人数を12名から15名に増やし、試合ごとに12名の出場可能選手を選択する形としてはどうかという意見が出た。

令和7年度の全中大会は現状通り12名の登録で行うことを確認し、令和8年度以降の対応については、各ブロック、各チームの意見を集約し、令和7年度第1回常任委員会で再度協議することとした。

令和7年度第1回常任委員会で協議した結果、15名登録することについては見送ることに決まった。

令和7年度第2回（本会議）で再協議

→令和8年度岡山全中については、15名登録にすることは難しいため、12名登録のままいくことが決まった。

→令和9年度から15名登録に向けて予算面で可能かどうか模索していく。

なお、15名を登録し、試合ごとに12名の出場可能選手を選択する形はとらず、15名登録かつ出場選手も15名の形で検討していく。

○背番号について1～12番の制限解除について

→1～99番にすることを承認（令和8年度岡山全中から採用）。

※11人制大会についても1～99番まで採用。

(2) エリートアカデミー、J-STAR、FTEM等について・・・（担当：強化育成本部：馬場先生）

○強化育成本部の馬場先生からFTEMに位置付けた今後の育成方針について、来年度からの新規事業として、Next-STRAを行っていくことについて、JHAタレント発掘（エリートアカデミー）についての説明があった。 資料2

(3) U15選考会および海外遠征について（担当：海外遠征事務局より）

【報告】

・令和7年9月13日（土）～15日（月） U-15 ジュニアユース選手選考会実施予定

場所：宮城県栗原市築館多目的競技場、宮城県栗原市一迫多目的広場

男子97名、女子87名、スタッフ19名、医療スタッフ4名 参加

・2025 KMSB Youth International Gryphon Cup

* JHA「事業計画」の競技力向上(強化)事業に掲げられた目標を具現化すべく、日本代表チームを編成しオーストラリア海外遠征を3年連続実施した。

* 大会成績

男子：3位(参加12チーム)、女子：4位(参加13チーム)

・U15一次選考会について

東地区 日時：令和7年11月1日～2日 場所：栃木

中地区 日時：令和7年11月1日～2日 場所：福井

西地区 日時：令和7年11月8日～9日 場所：愛媛

【今後のU15選考会及び海外遠征の運営方法、時期、場所等について】

OU15選考会及び海外遠征については、来年度(令和8年度)から日本ホッケー協会強化育成本部の方針により、JHA強化育成本部アンダーカテゴリー強化育成部の管轄事業となった。現状、来年度のU15選考会及び海外遠征の時期や場所については未定で、今後日本ホッケー協会強化育成本部より、具体的な指示がある予定。

(4) 令和8年度U15部会役員(案)について

資料3

○会長…次年度全中大会開催地(岡山県)の瀬戸中学校校長にお願いする。

○副会長…令和9年度全中大会開催地(京都府)にお願いする。

○常任委員、専門委員の交代について確認…基本は各ブロックに任せている。

次年度ブロック常任委員、専門委員を変更する場合は、旧常任委員で責任をもって5月の常任委員会までに事務局(徳光)に連絡をする。

異議なく承認される。

(5) U15カテゴリー部会組織および全国大会内規事項等について・・・【事務局】

・U15カテゴリー部会規約について

資料4

規約について確認した。

・全日本中学生ホッケー選手権大会内規事項について

資料5

○クラブチームの監督またはコーチの保有資格について

1. 全国大会参加資格について

(2) ②クラブチームにあつては、日常継続的に代表者もしくは※2指導資格を有する指導者の指導のもとに、活動が適切におこなわれていること。また、監督またはコーチのどちらかは※2指導資格を有すること。

※2：JSP0(日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 コーチ3以上を有するもの)

この規程について、コーチ資格の緩和をしてもよいのではないかという意見があり、協議を行った。

U15部会としては、コーチ資格について、コーチ3を取得および受講中の場合も認める方向で確認をした。今後は日本ホッケー協会指導者育成部にU15部会の意見を報告し、指導者育成部に最終判断を委ねる

<参考>公認スポーツ指導者資格の義務付け(大会) (日本ホッケー協会 2025.1.22)

・地域クラブ活動の全中大会参加資格の承認【令和7年度実績】

男子 24 チーム（昨年度 21 チーム）、女子 20 チーム（昨年度 17 チーム）

ブロック	男子	女子
東北	○岩手 岩手 U-15 ホッケークラブ(19) ○青森 AOMORI HOCKEY U-15 (8)	○岩手 岩手 U-15 ホッケークラブ(21) ○青森 AOMORI HOCKEY U-15 (9)
関東	☆茨城 TOKAI フィールドホッケークラブU-15 (16) ☆栃木 TKHC U-15 エスペランサ日光 (2) ○神奈川 慶応ホッケースクール (6) ○東京 フリークス東京U 1 5 (9) ○埼玉 飯能ジュニアホッケークラブ(21)	☆茨城 TOKAI フィールドホッケークラブU-15 (18) ☆栃木 TKHC U-15 エスペランサ日光 (2) ○東京 フリークス東京U 1 5 (11) ○埼玉 飯能ジュニアホッケークラブ(13)
北信越	なし	☆富山 RED OX OYABE HOCKY CLUB A-15(32)
東海	○静岡 SHC (9) ○岐阜 かかみがはらホッケークラブ(14) ○岐阜 可児UNIC FHSC(12) ○三重 ナバリスタホッケークラブ(9) ○愛知 NPO 法人愛知スポーツ倶楽部(12)	○岐阜 かかみがはらホッケークラブ(17)
近畿	☆滋賀 PROGRESS (7) ○兵庫 HC HYOGO HEARTS(28)	☆滋賀 PROGRESS (12) ○兵庫 HC HYOGO HEARTS(8)
中国	☆山口 KUGA ホッケークラブ (13) ○岡山 総合型瀬戸スポーツクラブ瀬戸ホッケークラブ中学校の部(16) ○広島 Hiroshima Buena Vista HC(16)	☆広島 Hiroshima Buena Vista HC(8) ○岡山 総合型瀬戸スポーツクラブ瀬戸ホッケークラブ中学校の部(9) ○鳥取 鳥取ホッケークラブ(6)
四国	○香川 綾川ホッケークラブ(8) ○愛媛 松前ホッケークラブ(15)	○香川 綾川ホッケークラブ(7) ○愛媛 松前ホッケークラブ(12)
九州	☆鹿児島 SS 樋脇 HC (7) ○長崎 川棚ホッケークラブ(12) ○宮崎 ALL STICKS CLUB(14) ○大分 大分アスリートホッケークラブ(20) ○佐賀 伊万里クラブ(18)	☆鹿児島 SS 樋脇 HC (6) ○長崎 川棚ホッケークラブ(5) ○宮崎 ALL STICKS CLUB(6) ○大分 大分アスリートホッケークラブ(10) ○佐賀 伊万里クラブ(10)

※かっこの中は登録人数、☆：新規登録のチーム、○：更新登録のチーム

・合同チームの規程について

資料6

【合同チーム編成条件】

- ① 学校長の承認は必要。・・・学校管理下による大会実施を守る。
- ② 必ず教員または部活動指導員による引率であること。
- ③ 合同チームとして認められる範囲（チーム数）は特に設けない。（R6.2.24 承認）
- ④ レンタルによる合同チームについては全中大会では認めない。

・合同チームの全中大会参加資格の承認【令和7年度実績】

男子 3 + 2（昨年度 7 + 1）チーム、女子 6 + 2（昨年度 6 + 1）チームが申請

※拠点校部活動の参加についても第1回常任委員会の場で確認する。

資料7

→印は拠点校となる校長のみでよい。

ブロック	男子	女子
東北	山形（川西 11・米二 1・米三 1） 福島（棚倉 15・浅川 1）	宮城（築館 3・栗原西 7） 山形（川西 9・米七 1）
関東	なし	山梨（白根御勅使 10・白根巨摩 4）
北信越	新潟（○巻西 10・内野 1・西川 1） ※拠点校部活動 長野（○赤穂 2・東 0） ※拠点校部活動	新潟（○巻東 9・西川 3・小針 1） ※拠点校部活動 長野（○赤穂 12・東 0） ※拠点校部活動
東海	なし	静岡（清水 7・長泉北 2・山田 1・三島南 1・中郷西 1）
近畿	京都（蒲生野 4・瑞穂 11）	なし
中国	なし	山口（玖珂 5・高森みどり 2） 岡山（磐梨 9・吉井 1・高陽 1）

四国	なし	なし
九州	なし	なし

※拠点校部活動に関しては、拠点となる学校に○を付けています。

※1「日本ホッケー協会中学部会合同チーム参加規程」2. 合同チームの条件の(2)「各都道府県 中学校体育連盟に加盟しているチームは、各県の合同チームに関する規定(規約)等に則り編成されたチームであること」に準じているため許可される。

・令和9年度以降の全中大会および開催地について

＜輪番表（日本中体連全中大会の輪番を基準）＞

R8：中国ブロック（岡山県で決定）

R9：近畿ブロック＜令和7年度中に全中開催地の内定を目指す。＞

→京都府で内定。

R10：関東ブロック、R11：東海ブロック、R12：東北ブロック、

R13：四国ブロック、R14：北信越ブロック、R15：九州ブロック

※令和8年度中に令和10年度の全中開催地の内定を目指す。

【基本ローテーション】

九州ブロック→中国ブロック→近畿ブロック→関東ブロック

→東海ブロック→北海道・東北ブロック→四国ブロック→北信越ブロック

○今後の全大会の持ち方について（事務局より）

酷暑の中での大会設定について、日程や競技方法について協議していかなければならない。

（案）屋間の時間をさける（早朝＋ナイター利用）。その場合は、ホテルの朝食対応はなしで、軽食を業者に委託する形ができるのではないか。

トーナメント方式にして1日1試合にする。

開催時期を変更し、6月や9月下旬以降の開催にする。

開催時期を遅らせていく。

U15全中大会検討委員会を作り、たたき台を作っていく必要があるのではないか。

会議の中で上記の内容の案が出た。今後、早急に具体的な内容について精査していく必要がある。

(6) 第26回都道府県対抗11人制ホッケー選手権大会について・・・・・・（11人制担当：鈴木）

コロナ開けから4年連続の大会実施となり、大変盛り上がった。令和4年度から、U15部会の中に11人制大会実行委員会を設置し、大会開催地だけにまかせるのではなく本部会としても積極的に参画をおこなう方針の下、若手の先生方を中心に大会までの準備等に取り組んでいる。また、当日の運営については多くのU15部会関係者が自チームのスタッフになるため人手が足りない。令和7年度はコート責任者を地元実行委員会より依頼され、U15部会から3名を選出して協力をした。

・大会参加費 40,000円

・大会出場選手、スタッフの事前確認やプログラム作成にあたりU15カテゴリー部会の協力、U15テント借用など具体的な調整を行う。

★R6からTOTO助成金を申請し、R7は320万円の助成があった。

★11人制大会の開催時期については、10月第4週土曜日・日曜日の開催を基本とする。

※但し、JHA主催の他競技大会との調整により前後することもある。

次年度の日程：令和8年10月24日（土）、25日（日）

＝現状報告＝（鈴木競技部長）

今大会からパワープレーの導入があった。特に大きな問題やトラブルなく運営できた。PG 時のフェイスマスクの着用にかかる場面があったため、今後はPGの40秒クロックの導入についても検討していく。

(7) 令和7年度決算（中間報告）および事業報告について・・・（事務局、会計）

①令和7年度「事業報告」～まとめ～

資料8

異議なく承認される。

②令和7年度「決算報告」～中間まとめ～

資料9

異議なく承認される。

(8) 令和8年度事業計画(案)・運営費予算(案)について・・・（事務局、会計）

①令和8年度「事業計画（案）」について

資料10

令和8年度の選考会や海外遠征については未定である。今後、日本ホッケー協会強化育成本部からの指示により、決まっていく予定。その他の項目については、異議なく承認される。

②令和8年度「運営費予算（案）」について

資料11

異議なく承認される。

(9) 競技部・審判部より・・・（競技部：鈴木、審判部：尾木）

2026ルール研修会の伝達

＝競技部より＝

○ユニフォーム規程について、チーム固有のデザインについてはチーム名としてとらえることができる。

＝審判部より＝

○スクープのルールについて、上げられたボールが『落下してくるとき』、そのボールを受け取るプレイヤーがボールに触れるまで、相手側プレイヤーはそのプレイヤーから5m以内の距離に近づいてはならない。

○選手交代の際に、選手はTOやテーブルの前でしゃがむ必要はない。

(10) その他

- ・合同チーム、拠点校部活動及びクラブチームに関する申請の確認および情報交換

＜合同チーム申請の流れ＞

4月に中学校部会 HP に「合同チーム申請書、拠点校部活動申請書」をアップする。



- ・合同チーム、拠点校部活動の申請方法について

①合同チーム、拠点校部活動の申請をするチームは第1回常任委員会の10日前までに各ブロック常任委員に申請をする。（申請書のpdfでの提出締切）

②第1回常任委員会の1週間前までに各ブロックの常任委員はブロックの状況をまとめ、事務局に申請書のpdfをメールで送り報告する。

③合同チーム、拠点校部活動申請書原本は各ブロックの常任委員が常任委員会に持参する。
（※各チームは常任委員会（5月24日（日）までに常任委員に原本を送付すること。）

○公印の押された者を提出する。押されていないものは認めない。



第1回目の常任委員会で確認・承認

＜クラブチームに関する申請の流れ＞

資料12・13 様式1・2・3

- ・令和8年度第1回常任委員会の日程・場所の確認

令和8年5月24日（日） 場所：YIC 京都工科自動車大学校（京都）

5 閉会

閉会にあたり、日本ホッケー協会 U15 カテゴリー一部会副会長西山径様から閉会のご挨拶をいただき、会を閉じた。